

委託訓練カリキュラム

訓練科名		介護初級科及び障害者居宅介護従業者研修1	就職先の職務	介護関連の職種	
訓練期間		令和6年5月10日	～	令和6年8月9日	
訓練目標		介護に携わる者が、基本的な介護業務を行うことができるよう最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを習得する。 障害者(児)の増大かつ多様化するニーズに対応した適切な居宅介護等を提供するための必要な知識及び技能を有する居宅介護従業者等の養成を図ること及び障害者(児)サービス事業所への就職も可能とすることを目的とする。			
取得目標資格		①介護員養成研修介護職員初任者研修課程(訓練修了時に左記課程も修了) ②障害者居宅介護従業者基礎研修課程 ③同行援護従業者養成研修一般課程 ④普通救命講習(訓練修了時に②～④の左記課程も修了)			
受講対象者		介護職員として介護関連職種に就職を目指す求職者			
		科目	科目の内容	時間	
訓練	学科及び実技	介護職員初任者研修課程	職務の理解(6h)、介護における尊厳保持・自立支援(9h)、介護の基本(6h)、介護・福祉サービスの理解と医療との連携(9h)、介護におけるコミュニケーション技術(6h)、老化の理解(6h)、認知症の理解(6h)、障害の理解(3h)、こころとからだのしくみと生活支援技術(75h)、振り返り(4h) ※こころとからだのしくみと生活支援技術については、一部実技演習を含む。	135	
		障害者居宅介護従業者基礎研修	1.福祉サービスを提供する際の基本的な考え方に関する講義 2.障害者福祉及び高齢者福祉に係る制度及びサービス並びに社会保障に関する講義 3.居宅介護に関する講義 4.障害者及び高齢者の疾病 5.基本的な介護技術に関する講義 6.家事援助に関する講義 7.医学等の関連領域の基礎知識 8.演習	44	
		同行援護従業者研修	1.障害者福祉に係る制度及びサービスに関する講義 2.視覚障害者の疾病、障害等に関する講義 3.基礎的な移動支援に関する講義 4.障害者の心理に関する講義 5.演習	15	
		労働安全衛生	労働安全衛生について	3	
		小計		241 以上	
内容	実技(演習)	介護記録の書き方	観察の視点を活かした介護記録の書き方	5	
		介護予防運動指導及びレクリエーションの理解	介護予防と高齢者筋力トレーニングの実際、認知症予防とリハビリテーションレクリエーションの理解	6	
		緊急時の介護	普通救命講習、緊急時に備える、急な体調変化への対応、事故が起こった際の対応、緊急時への対応・心構え	12	
				小計	
実技(職場見学等)	職場見学等(介護老人福祉施設、居宅介護事業所、グループホーム、障害者支援施設などのうちから2か所以上かつ6時間以上)	ホームヘルプサービス同行訪問(8)、生活介護を行う事業所の見学(4)		60	
		介護老人福祉施設(18)、グループホーム(12)、デイサービス(12)、看護小規模多機能型居宅介護(6)			
		小計		60	
合計				324	
就職支援の具体的内容		1.ジョブカードの作成支援とキャリアコンサルティングの実施 2.PCを活用した個人別適性診断の実施 3.当法人ネットワークを活用した就職の斡旋 4.県社協人材センターとの連携による就職支援			
使用する機械器具・教材等		介護職員初任者研修テキスト(介護労働)、緊急時の介護(介護労働)、同行援護従業者養成研修テキスト(中央法規)			
備考		・上記訓練時間とは別に開講・修了に係る行事を行います。 ・職場見学等は、下限は6時間以上とする。 なお、原則として現場での実施を基本とするが、職場見学はオンラインでの実施も可とする。			